

社会資本総合整備計画（市街地整備）事後評価書

平成28年1月29日

計画の名称	都市公園の整備と公園施設の更新による安全・安心で災害に強いまちづくり（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	川越市
計画の目標			

平成18年度策定の第三次川越市総合計画においては、「公園の整備と充実」として、多様な活動の拠点となる公園の整備、既存公園の魅力の創出等を位置づけ、公園の整備を推進しているところではありますが、現状、本市公園の整備状況は一人当たりの公園面積が4.5㎡と低い整備状況となっており、既存の公園については、施設の老朽化や新たな市民ニーズ等への対応等が喫緊の課題となっております。このため、総合公園等の市民の多様なニーズに対応する活動拠点の整備を進めつつ、既存の公園についても安全安心に利用できるよう施設のリニューアル等を進めていくことで、公園利用のネットワークを充実させるとともに、個々の公園の魅力を向上させ、利用価値及び都市環境改善等の存在価値を高め、市民生活環境の向上を図ってまいります。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・市民1人当たり都市公園面積の増加 4.58㎡/人（H22当初） 4.7㎡/人（H26末）
- ・遊具等公園施設の改築・更新達成率の向上 0%（H22当初） 100%（H26末）

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 （H22当初）	中間目標値 （H24末）	最終目標値 （H26末）	
市民1人当たり都市公園面積 = 市内都市公園開設面積 / 都市計画区域内人口	4.58㎡/人	4.6㎡/人	4.7㎡/人	市民一人当たり都市公園面積の目標値については、単独事業を含めた目標値の設定です。
遊具等公園施設の改築・更新の達成率 = 改築・更新を行った公園数 / 改築を要する遊具のある公園数	0%	37%	100%	
公園施設長寿命化計画策定達成率 = 計画の策定を行った公園数 / 計画の策定をする公園数	0%	39%	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	3,738百万円	A	3,527百万円	B	0百万円	C	211百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5.6%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	--------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
社会資本総合整備計画の事後評価として川越市で実施	平成27年度
	公表の方法
	市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	公園	一般	川越市	直接	川越市	都市公園事業（なぐわし公園）	整備面積 約2.9ha	川越市						3,343	
1-A-2	公園	一般	川越市	直接	川越市	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	施設の改築更新 4 5 公園	川越市						170	
1-A-3	公園	一般	川越市	直接	川越市	公園施設長寿命化計画策定事業	長寿命化計画策定 6 4 公園	川越市						14	
合計													3,527		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-B-1															

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	公園	一般	川崎市	直接	川崎市	なぐわし公園整備事業（温浴施設等整備分）	温浴施設等の整備	川崎市						211	
合計													211		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	なぐわし公園において運動施設と一体的に温浴施設等を整備することにより、公園の魅力の創出を図る。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 計画期間内に6.3haの公園面積を供用開始した事により、市民1人当たりの都市公園面積が増加した。 45公園の遊具等の改修を行った結果、利用者が安全、安心して利用できる公園数が増加した。 公園施設長寿命化計画を64公園策定したことにより、対策が必要な公園が明らかとなり、計画的に整備を実施する事ができた。
------------------------------	---

定量的指標の達成状況	指標（市民1人当たり都市公園面積の増加）	最終目標値	4.7㎡/人	目標値と実績値 に差が出た要因	都市公園の整備面積は計画値に達し、概ね計画どおり実施する事ができたが、人口の増加もあり僅かであるが、実績値は目標値を下回った。
		最終実績値	4.66㎡/人		
	指標（遊具等公園施設の改築・更新達成率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標（公園施設長寿命化計画策定達成率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）	都市公園の持つ防災性能を踏まえ、指定緊急避難地に指定された。
--------------------------------------	--------------------------------

3. 特記事項（今後の方針等）

次期社会資本整備計画においても新たな目標を設定し、都市公園法で定められた、都市公園の住民1人当たりの敷地面積の標準10㎡以上を目指しながら、老朽化が進む既存公園内の遊具など、公園施設の改築、更新を図ります。また、都市景観の形成、都市環境の改善、都市防災性の向上、生物多様性の確保、豊かな地域づくりに資する交流空間など、多様な機能を有する都市公園の整備に努めて、豊かさや潤いを実感できる市民生活の実現に向け、整備を進めていきます。